参考

**屋根雪処理のガイドライン**

１　屋根雪の処理方法

1. 雪下ろし
2. 耐雪式：雪を屋根の上に載せ、通常雪下ろしを要しない方式をいう。
3. 融雪式等：地下水等を利用して屋根上で融雪する方式をいう（機械式を含む。）。
4. 落雪式：人力によらず雪を自然に落下させる方式をいう。

２　処理方法別の注意事項

1. 雪下ろし：隣接地等（特に道路）に支障を及ぼさないよう十分に配慮して雪下ろしをすること。　　　　　　　　　　　　　　また、雪下ろし場所を十分確保した建築設計をすること。
2. 耐雪式：雪庇の落下防止用のフェンスの設置等、隣接地等に支障を及ぼさないよう適切に維持　　　　管理すること。
3. 融雪式等：隣接地等に支障を及ぼさないよう適切に維持管理を行うこと。
4. 落雪式：堆雪幅は、隣接地等（特に道路）に支障を及ぼさないように十分確保すること。なお、

落雪方向の隣接地所有者等と事前に協議することが望ましい。

(堆雪幅の参考)



**(参考数値)**

日本雪氷学会「雪氷」第４０巻　中村秀臣氏「滑落した屋根雪の堆雪形状」による

 ｈ：垂直積雪量

|  |  |
| --- | --- |
| l2(屋根幅) | l1(堆雪幅) |
| h=1.0 | h=1.3 | h=1.7 | h=1.8 | h=1.9 | h=2.5 | h=3.0 | h=3.1 | h=3.2 | h=4.0 |
| 3.0m未満 | 0.54l2 | 0.61l2 | 0.69l2 | 0.71l2 | 0.73l2 | 0.8l2 | 0.85l2 | 0.86l2 | 0.87l2 | 0.94l2 |
| 3.0m以上～4.0m未満 | 0.54l2 | 0.60l2 | 0.68l2 | 0.70l2 | 0.72l2 | 0.8l2 | 0.85l2 | 0.85l2 | 0.85l2 | 0.94l2 |
| 4.0m以上～5.0m未満 | 0.5l2 | 0.56l2 | 0.64l2 | 0.65l2 | 0.67l2 | 0.75l2 | 0.83l2 | 0.84l2 | 0.85l2 | 0.9l2 |
| 5.0m以上～10.0m未満 | 0.48l2 | 0.54l2 | 0.62l2 | 0.63l2 | 0.65l2 | 0.72l2 | 0.78l2 | 0.79l2 | 0.80l2 | 0.88l2 |
| 10.0m以上～15.0m未満 | 0.38l2 | 0.44l2 | 0.50l2 | 0.52l2 | 0.53l2 | 0.59l2 | 0.64l2 | 0.65l2 | 0.66l2 | 0.73l2 |
| 15.0m以上 | 0.34l2 | 0.39l2 | 0.44l2 | 0.45l2 | 0.46l2 | 0.52l2 | 0.56l2 | 0.57l2 | 0.58l2 | 0.64l2 |

※計算例

屋根面の水平距離(l2)が4.2m、垂直積雪量が2.5mの場合

l1＝0.75×4.2m＝3.15m

したがって、落雪堆積部分において、軒先から隣地境界までの水平距離は、3.15m以上必要となります。